

令和3年度 全体保護者会

神南小学校の教育

R3.4.9&4.15

1

教職員の紹介

- 校長、副校長 各 1人
- 1、4～6年 2学級 2、3年 3学級 担任 14人
- わかかさ学級 担任 3人
- 専科（音楽、図工、算数少人数指導） 3人
- 養護教諭 1人
- ふたば学級、きこえとことばの教室 4人、6人
- 講師8人、特別支援教室専門員、ALT、補助員、
介助員、支援員、図書館専門員、スクールセラ-2人
- 事務、栄養職員、用務、スクールサポートスタッフ
- 児童安全管理(シルバー人材)、学校警備 など
氏名等は、学校便り4月号を参照

2

教育目標

- 心豊かで思いやりのある子ども
- たくましくねばり強い子ども
- よく考え工夫する子ども

学級数・児童数 (4/6現在)

全学級 16学級 計 473名
(わかかさを含み、通級指導学級は除く)

3

◆本年度の重点

- 全ての教育活動を「よく考えくふうする子」とリンク
- これからの時代に必要な資質・能力の育成
- 様々な交流や協働による心豊かな児童の育成

4

これからの時代に必要な力

- ・情報化やグローバル化の進展
- ・人工知能等の飛躍的な進化 など

急激な社会的変化の中で必要な知識や能力を学校教育で育てる

➡ **大学入試なども変わります**

5

これからの時代に必要な資質・能力の育成

○新しい「学習指導要領」による授業

主体的・対話的で、深い学び
各教科・領域等の見方・考え方の育成
習得型、活用型、探究型の学習のバランス
カリキュラム・マネジメント
社会に開かれた教育課程 など

6

これからの時代に必要な
資質・能力の育成

○探究型の学びを進める「神南タイム」
(総合的な学習の時間)

- ・地域から学ぶ ・体験を通して学ぶ
- ・実社会とつながって学ぶ
- ・自己の生き方とつなげて学ぶ

○「シブヤ科」の取組

- ・今年から、渋谷区立全小・中学校での取組
- ・身近な地域や渋谷を対象に、探究的に学ぶ
- ・地域への愛着、社会参画する力などを育む

7

これからの時代に必要な
資質・能力の育成

○ICTの活用

- ・情報活用能力を育てる
学習のツールとして活用
情報モラル教育 プログラミング教育

○英語の学習

- ・コミュニケーションのツールとして
低学年から、楽しく触れる
中学年は、音声を中心に
高学年は、文字の読み書きも始まる
中・高学年は、講師とALTによる授業

8

これからの時代に必要な
資質・能力の育成

○家庭学習

- ・家庭での学習習慣を育む
(めやす：各学年×10分+10分)
- ・低学年：学校での学習の定着と習熟
- ・中学年以降：復習や予習などを含め、
徐々に、自学自習ができるように
1週間の計画などをたてる力
- ・個人の目標に伴う取組
スポーツ、芸術、進学塾など

9

心豊かな児童の育成

○人権の尊重

- 自分も他人も大切にする
- 多様性や違いを理解し、認める
- 思いやりの心を育む

○全校活動

- 1～6年生の縦割り班活動
- 班遊び、全校遠足、お別れ会食など

10

心豊かな児童の育成

○いじめや差別の根絶

○多様性の尊重

- ・一人一人の個性や違いを認める
- ・いじめや差別を許さない学校・学級に
(いじめ防止の取組を)
- ・ダイバーシティの考え方
障害のある・なしに関わらず
- ・ちがいを力に変える街 しぶや
- ・グローバル社会の中で生きる

11

心豊かな児童の育成

○さまざまな交流や活動

- ・温かな学級経営
- ・1年ごとの学級編成替え
- ・近隣の子ども園等との交流
- ・日本の伝統文化体験 など

○挨拶

- 「あいさつ さわやか 神南小」

○読書活動

- ・読み聞かせ ブックトーク

12

心豊かな児童の育成

〇心に響くハーモニー

- ・ 鼓笛隊
渋谷区一の実力を誇る活動
- ・ 神南ニュープラスバンドクラブ
多くの児童が憧れる部活動
様々な演奏会などでも活躍

※本年度も状況を見ながら活動

13

組織的・計画的な学校運営

一部教科担任制(4~6年)、副担任

◎担任、学年
専科教員

講師、特別支援教室等
全教職員

児童にかかわる教員が増える
相談できる教員が増える

すべての教職員で
子供たちを育てます

14

コミュニティ・スクール

学校 ↔ 保護者・地域

学校のよさ、成果、
課題などの情報

保護者・地域の願い

実質的な連携を深めていく

情報発信・意見交換

15

コミュニティ・スクール

学校 ↔ 保護者・地域

神南ひまわりーず
によるサポート

- ・ 読み聞かせ・環境整備
- ・ 校外学習、休み時間の見守り
- ・ その他 できることを

ぜひ、登録を!

16

学校 ↔ 保護者・地域

挨拶
基本的な生活習慣
家庭学習習慣

共通理解と指導の継続

自立・自律した生活
学力の定着・向上

17

コロナ禍での感染拡大防止対策

- 引き続き、マスク、手洗い等の徹底
- 休み時間は、交代制で、密をさける
- 給食：配膳方法、対面なしでの喫食
- 家庭での検温などにも、ご協力を
など

18

今後の教育活動について

○工夫しながら実施すること

- 体育授業(マスクの付け外し)
- 理科の実験
- マスク付きでの歌唱や
対面しないでのリコーダー
など

19

今後の教育活動について

○安全第一に実施を検討中のこと

- 校外学習
- 遠足、社会科見学
- 宿泊行事(4～6年)
- 連合行事(陸上記録会、音楽鑑賞教室)
- 水泳指導
- 運動会(10月に、内容縮小?)
など

20

今後の教育活動について

○できない(そうにない)こと

- 対面での歌唱指導
- 体を密着する運動
など

21

コロナ禍での教育活動について

- 様々な制約やルールの中で、工夫
- 新しいやり方に変えながら
- 学校のよさを生かして
- 新しい楽しさや喜びを
- よい面を考えながらのりきる
- 保護者の皆様にもご協力を
よろしくお願いいたします

22